

起業・継業のためのローカルビジネススクール

篠山イノベーターズスクール

Sasayama Innovators School

2021年度入学生募集
5月スタート

丹波篠山。
ローカルで、
自分のしごとを
つくる。



みつかる、 つながる、 カタチにできる。

地域の資源を活かした新しいしごと、 農村の未来を創る人のためのスクール

日本の農村には豊かな資源 — 受け継がれてきた自然・歴史・文化・農地など — があります。

今求められているのは、こうした資源を活用した“農村だからこそできる新しいしごと”づくり。

篠山イノベーターズスクールは、皆さんが、夢・仲間・資源を、みつけ、つなげ、カタチにするためのローカルビジネススクール。神戸大学と丹波篠山市が連携して、チャレンジを応援します。



スクールから広がる“地”と“知”

農村での起業・継業には、経営スキルだけでなく、地域社会と確かな関係性を構築していくことも求められます。スクールではあなたが農村で実現したいことやライフスタイルをカタチにするためのセオリー(知識)とノウハウ(技術)とネットワーク(仲間)を、地域全体の“ビジネスエコシステム”を通して提供します。

セオリーは神戸大学を中心とする大学教授などから、ノウハウは様々なタイプの起業家から、ネットワークはコーディネーターが用意する様々な機会から得られます。また、起業の際の専門家の助言、ファンディング、丹波篠山市内でのコワーキングオフィスやインキュベートオフィスなどの橋渡しもいたします。

セオリー

ネットワーク

ノウハウ

1 ノウハウと姿勢を学ぶ CBL (Community Based Learning)

地域（コミュニティ）に密着したプロジェクト実践を通してノウハウ習得と仲間づくりを進めます。

※CBLは、最大8名の少人数制。1つのみ選択可能です。

里山資源を活かした スモールビジネスをつくろう

土曜 昼

養蜂や、石鹸、和精油、ウッドクラフトなどを製造・販売しているささやまビーファームさんと、里山の資源を活かして商品化する、小さくはじめるビジネスのかたちを考えます。



ファシリテーター/講師
松村 まな
株式会社ささやま
ビーファーム
代表取締役

学べること

- 丹波篠山の里山資源を知る
- 小さくはじめる手作りの商品開発（入口戦略）
- 開発した商品を販売する（出口戦略）

開講日 8/7, 8/21, 9/11, 10/2, 11/6, 12/4

オンラインプログラム

農村発 プラットフォームビジネスをつくろう

金曜 夜
土曜/日曜 昼

宿泊あり

プラットフォームビジネスとは、商品やサービスなどを交換する「場」= 土台（platform）を提供するビジネスモデルです。今回は特に、オンライン＆農村の資源や課題に絞り、スタートアップを目指します。



ファシリテーター/講師
中塚 雅也
神戸大学大学院
農学研究科 准教授

学べること

- 現在の農村の課題とビジネスチャンス
- プラットフォームビジネスの潮流
- 事業計画づくりの手順と共同経営を行う仲間づくり

開講日 5/21, 7/2, 7/24から1泊, 9/3, 10/1

加工特産品を開発しよう

土曜 昼

自然環境が豊かな丹波篠山市草山地区を舞台に、阪急百貨店協力のもと商品開発や販売戦略のノウハウを学びます。地域特性を考慮した、新たな加工特産品を創出し、商品化を目指します。



ファシリテーター/講師
大谷 晃平
丹波篠山キャンプ場
やまもりサーキット
代表



ファシリテーター/講師
清水 夏樹
神戸大学大学院
農学研究科
特命准教授

学べること

- 丹波篠山や草山地区の背景を知る
- 加工特産品開発のノウハウを学ぶ
- 地域特産品のブランディングを実践する

開講日

7/17, 8/28, 9/11,
10/23, 11/27,
12/18

地域をプロデュースする チームをつくろう

土曜 昼 / 日曜 昼

宿泊あり

丹波篠山市大芋地区を舞台に、チームをつくり、地域の課題解決やブランディングに繋がるビジネスをプロデュースします。地域のあらゆる資源を掛け合わせ、新しい地域ビジネスや働き方をつくりあげていきます。



ファシリテーター/講師
村山 恵一
コピーライター
大芋小出身

学べること

- 丹波篠山市大芋（おくも）地区を舞台に、農山村地域を学ぶ
- 地域資源を活用した課題解決手法
- 新しい地域ビジネスモデルとマーケティングを考える

開講日 6/5, 7/10から1泊, 8/7, 9/4, 10/2

2 農村ビジネスのセオリーを学ぶ セミナー

ビジネスに必要な、基礎的な知識やスキルを、大学教授などから学びます。

農村ビジネス基礎知識

農村イノベーション

水曜 夜 / 土曜 昼

学べること

- 農業農村と地域づくりの最前線の動向
- イノベーションの創出の理論と技術
- 地域資源の活用と農村でのイノベーションの要点



講師 中塚 雅也
神戸大学大学院
農学研究科
准教授

開講日

5/22, 6/2*, 6/16*
7/3 (2コマ連続), 7/14*
*水曜夜はオンライン開催

食と農の流通とマーケティング

土曜 昼

学べること

- 流通の役割と仕組み
- マーケティング理論の基礎
- 食と農のマーケティングの考え方



講師 岸上 光克
和歌山大学
食農総合研究所
教授

開講日

1/22, 2/5, 2/19 (各日2コマ連続)

地域の成り立ちと構造（空間と歴史）

金曜 夜

学べること

- 地域の空間特性の読み解き方
- 歴史的変遷を踏まえた集落景観の保全活用
- 地域景観を捉える要点



講師 横山 宜致
公財 丹波の森研究所
専門研究員
丹波篠山市まちづくり部
景観室長

開講日

12/3, 12/17, 1/14, 1/28, 2/11, 2/25

農村ビジネス基礎スキル

ビジネスモデルデザイン [必修]

土曜 昼

学べること

- あなたらしいビジネスモデルのデザインと進化プロセス
- 顧客から学び、価値をうみ出すプロセス
- 事業継続のためのサービスデザイン



講師 岡田 明穂
関西 d ラボ 代表理事
ビジネスモデルイノ
ベーション協会 理事

開講日

5/22, 6/19, 7/31 (各日2コマ連続)

起業のためのファイナンス

日曜 昼

学べること

- 利益を生み出す構造の理解
- 利益を生み出すためのリスク分析
- 成長ステージ別のリスクと資金調達手段の関連性の理解



講師 忽那 憲治
神戸大学大学院
経営学研究科 教授

開講日

8/1, 8/22, 9/5 (各日2コマ連続)

コピーライティングとデザイン

土曜 昼

学べること

- 伝えたい相手に、伝わる言葉で伝えるための心構えやスキル
- 伝わるデザインの基礎
- デザイナーや専門家との連携のコツ



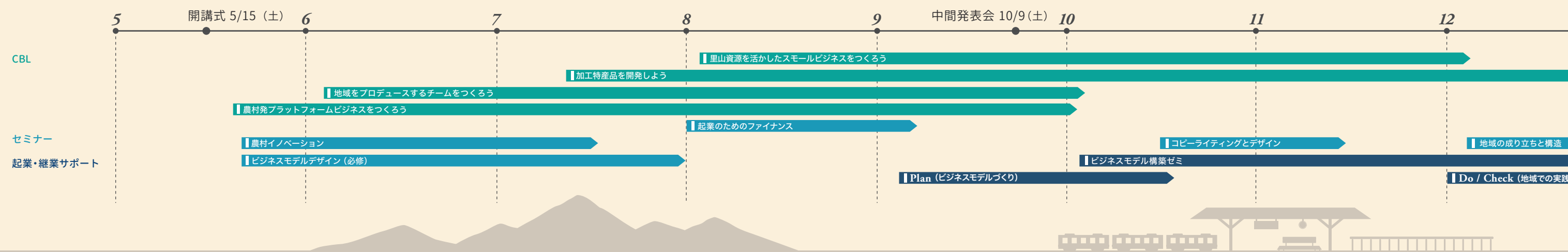
講師 二階堂 薫
コピーライター
文案業

開講日

10/16, 10/30, 11/13 (各日2コマ連続)

開講スケジュール

※カリキュラム修了には、CBL 1 科目、セミナー 2 科目の単位取得、「ビジネスプラン」の提出が必要です。



3 実現に向けてPDCAを伴走する 起業・継業サポート

自由選択

ビジネスモデルづくりから地域での実践、離陸までを、実践者や専門家とともに伴走型で支援します。

多彩なコーディネーターによるサポート



篠山イノベーターズ
スクール事務局長
鎌田 悠子



コーディネーター
瀬戸 大喜



コーディネーター
谷垣 友里



コーディネーター
河口 英樹



コーディネーター
谷川 智穂



ビジネスモデルづくり支援

仲間やコーディネーター、金融機関のスタッフ、経営の専門家らと交え、ゼミ形式で事業計画・収支計画などのビジネスプランをブラッシュアップします。

- ビジネスモデル構築ゼミ
9/18, 11/20,
1/29 (各日2コマ連続)
- スタッフへの個別相談随時受付



地域での実践支援

一人一人と丁寧にコミュニケーションし、課題や状況に応じたサポートを行います。地域での実践を通してビジネスモデルの更なるブラッシュアップを目指します。

- 資源・人とのネットワーク
- 個別のアクション、事業推進の支援



離陸支援

丹波篠山市の政策や創業支援の専門家、地域金融機関、地域の自治組織などと連携し、空き場を活用した仕事場づくりや、移住定住、開業資金調達なども仲介支援します。

- オフィスや住居などの物件情報、マッチング支援
- 資金調達の支援
- 法務・税務等専門家連携
- 地域おこし協力隊への推薦
(募集がある年のみ、修了生対象)



修了式 3/19 (土)

4

食と農の流通とマーケティング

Action (離陸支援)

受講生の声



仲間からの刺激が
新たな農村暮らしの実現へ

碓 由香 (Webディレクター)

自然と共存しながら持続可能な暮らしを実現する方法を考えたいと思い、入学しました。個性豊かな仲間や講師陣から多様な刺激を受けることができました。具体的なアウトプットに繋げるべく、ビジネスプランを徐々に具体化することができました。



自身の仕事×出会いと学び
新たなビジネスへ

森田 房幸 (農業)

丹波篠山の農産物をもっと色んな人に知ってもらう為に、起業やマーケティング・色々な方の意見や考え方を知る機会を探していた時に、スクールに出会いました。学びのみならず色々な方との交流はとても刺激を受け、大きな財産になりました。



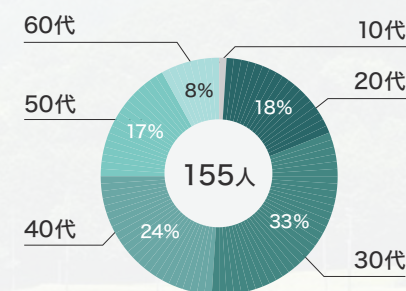
地域に根差した
田舎暮らしのスタートへ

海老原 由貴 (大学教員)

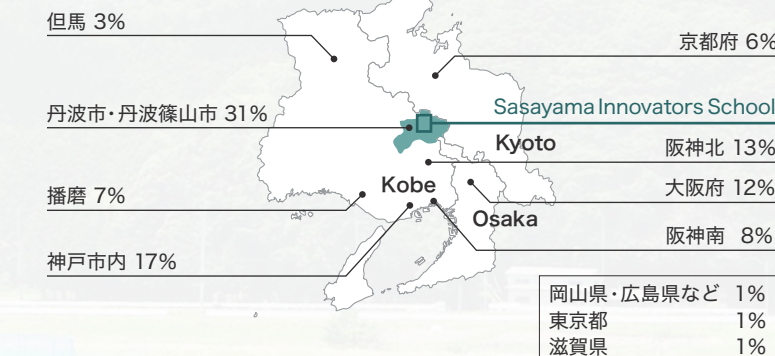
「田舎暮らしをしてみたいけど、何から手を付けたいのかかわからない。」そんな悩みがスクールに入学してすぐに解消されました。丹波篠山市で起業や地域貢献をしたい、という共通の志を持った仲間との学びは、有意義かつ楽しい活動の場です。

受講生のプロフィール

年代別分布



居住地の分布



地域のコミュニティスペースで
カレー店
東千世子

地域おこし協力隊×ベーカリーカフェ
児島佳史



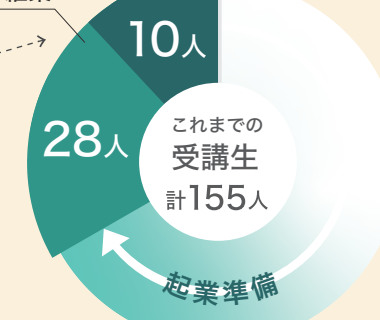
農業を活かした引きこもり支援
山本季代子



フォトグラファー×草刈り事業
酒井大輔

起業・継業へ

起業・継業



スクール生 155名中 28名 (うち市内 20名) が起業・継業
10名 (うち市内 7名) が事業拡大をしています。

教室は、JR篠山口駅直結 神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ。

農村イノベーションラボは、農村地域の課題解決と発展のため、現場のイノベーション、地域に根ざした教育・研究に取り組む拠点です。

丹波篠山市には、神戸大学農学部的前身である兵庫農科大学が1966年までありました。多くの学生や研究者が学び、地域に密着した研究をおこなってきた歴史を振り返り、再構築する形で神戸大学と丹波篠山市は地域連携活動を開始しました。その活動は約10年におよび、これまで多様な研究、教育、実践が展開されてきました。そうした中、丹波篠山市の地域創生の核として設立されたのが、神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボです。地域創造研究、地域人材育成、地域情報共有を柱にして、農村の未来を描くような、創造的・実践的な活動をおこなっています。幅広く活発な交流のなかで、アイデアとチャレンジあふれる場となることを目指しています。



電車で通える、ローカルビジネススクール

募集人数	最大 30名	募集期間	2021年2月1日(月)～ 3月31日(水)
応募方法	「篠山イノベーターズスクール」ホームページのエントリーフォームまたはFAXより ※FAXをご希望の方はお問い合わせください。エントリーシートをお送りします。		
学 費	88,000円 （税込価格・振込手数料別） （CBL（必須1科目）、セミナー（最大6科目）、起業・継業サポート（自由選択）、を全て含んだ1年間のプログラム） ※教材費やフィールドワークのための交通費等が別途かかる場合がございます。大学生(10代、20代に限る)については、学費助成制度もございます。詳細はHPまたはお問い合わせください。		

[お申し込みから開講までの流れ] ※原則、書類をもとに選考(場合により面談)させていただきます。



[お問い合わせ先]



Sasayama
Innovators
School

篠山イノベーターズスクール 事務局

〒669-2212 兵庫県丹波篠山市大沢165-3
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ

Tel&Fax

079-506-6628

Mail

info@sasayamalab.jp

HP

https://school.sasayamalab.jp

- [電 車]

JR福知山線（JR宝塚線）篠山口駅下車すぐ
JR大阪駅から約1時間
- [自動車]

舞鶴若狭自動車道 丹南篠山口ICから約5分
大阪・神戸から約1時間 / 福知山・滝野社ICから約30分

